

一 般 質 問

平成29年6月15日（木）

5 番 三 崎 伸 子 議 員

1. 憲法9条に関わって

- ①地方自治体の長として、住民の生命・くらし・財産を守る立場から、5月3日の安倍首相の憲法9条改定発言についてどう考えますか。
- ②石狩平和都市宣言の立場から、平和の大切さについて、市民に対して市長の思いをお聞かせ下さい。
- ③テロ等準備罪（共謀罪）についてのお考えをお聞かせ下さい。

2. 風力発電

- ①市民の健康被害への不安に対してどう考えていますか。
- ②ゾーニングの検討委員会に医学的な判断のできる学識者を入れること。
- ③ゾーニングが終わるまで事業の停止を求めてほしい。
- ④洋上風力について、渡り鳥への影響について自然保護の立場から市長の見解を伺います。

3. 放課後児童クラブ拡充

- ①今年度の申し込み状況と指導員の数。
- ②長期休みにおけるクラブの拡充。
- ③空き教室などを利用し退職職員の手を借りて学習指導し長期休みを充実させてほしい。

7 番 堀 弘 子 議 員

1. 成年後見制度について

- ①2000年に導入され、全国的に利用者は微増しているが、必要性に比べ周知度は低いと考える。高齢化社会への対応として利用促進を図るために、制度の理解を進めるべきであり多様な機会を通じて周知を行う考えを伺う。
- ②制度の浸透には、関係部署との連携が欠かせない。とくに認知症の方を狙った詐欺被害、訪問販売被害などに対応するためには必要な制度であることから連携した取り組みが必要と考えるがいかがか。

2. フッ化物応用の問題について

- ① 2017年3月17日、厚生労働省がフッ化物を配合する薬用歯磨き剤の高濃度基準をこれまでの1000ppmから1500ppmにすることを承認した。日本歯磨工業会は会員に向け、1000ppmを超える歯磨剤の注意表示などについて連絡している。1000ppm以下であっても身体影響の報告があったが、1.5倍になったことで健康被害が懸念される。よって石狩市健康づくり計画第2次の強い歯をつくる作戦の見直しを行うべきだがいかがか。
- ② 計画の見直しを行わない場合、歯磨剤のフッ素濃度が上がることを広く知らせ、併せて注意喚起すべきと考えるがいかがか。
- ③ アメリカでは相談センターが設置されている。日本でも相談センターを設置することが必要であり、国に要請すべきと考えるがいかがか。
- ④ フッ素応用が拡大することにより、フッ素に暴露する機会が増えるため、集団フッ化物洗口は中止すべきだがいかがか。

3. 空き家対策について

- ① 危険空家除却費補助制度を創設した。5月17日現在、危険な空き家のリストに24軒をあげているが、相続人の死亡などにより、現在の持ち主を探すのも困難としているが、手法としてどのようなことが考えられるのか伺う。
- ② 気象状況の変化などから自然災害による倒壊が考えられ、2次、3次被害は防止しなければならず早急な対応が必要であり、持ち主の意向調査などを積極的に行うべきと考えるがいかがか。

4. 石狩市いじめ防止基本方針について

- ① 各小中学校におけるいじめ防止基本方針の策定が行われ、適正に方針が施行されているのか、効果の検証について伺う。
- ② いじめの把握のためのアンケート調査の効果と把握できた問題への対応について。
- ③ 相談電話の利用状況と効果。
- ④ インターネットパトロールの現状について。問題点の把握と課題について。
- ⑤ いじめ問題対策協議会の開催状況と基本方針の見直しに対する検討結果について。
- ⑥ いじめに気が付いた時、発見した時には、速やかに対応することができる体制を整備すべきと考えるがいかがか。

17番 花 田 和 彦 議 員

1. 交通安全対策について

- ① 本市において例年と比べ交通事故が多発しています。4月末日時点で件数にして21件の増。事故件数は52件となっています。また、5月に入ってから、児童・生徒が当事者となる事故が5件発生しました。憂慮すべき事態と考えますが、市並びに教育委員会としての対策について伺います。

②また、石狩中学校前での事故に関しては信号機のない横断歩道を横断中の事故でありました。児童・生徒の安全を考えると、最低でも手押し信号機の設置を考えるべきと思いますが、お考えを伺います。またその他にも町内会・児童クラブ等の団体から信号機設置の要望が来ていると思いますが、その件数及び対応について伺います。

2. 石狩灯台開設記念イベント並びに本町地区観光振興について

①石狩灯台は明治25年(1892年)1月1日初点灯以来125年の歴史を刻むこととなりました。お聞きしたところ、今年10月頃を目途に灯台の化粧直しと共にイベントをお考えとの事ですが、現時点での計画の内容、規模についてお示し願います。また折角の機会を逃すことなく、本町地区観光振興につなげていただければと考えますが、お考えを伺います。

3. 石狩小学校円形校舎の利活用について

①平成32年を目途に石狩小学校と八幡小学校が統合されます。石狩市内最古の歴史を有する小学校が、その歴史に幕を下ろす事となり残念でありませんが、児童・生徒数の減少という現実とは向き合わなくてはなりません。ただ、石狩小学校は本町地区のシンボルであります。1950年代流行し残存数が減っている円形校舎をこのまま朽ち果てさせたくはありません。そこでお尋ねしますが、この円形校舎の利活用をどのようにお考えなのかお示し願います。

4. 石狩市空家等対策計画の進捗状況について

①平成26年11月27日に出されました、空家等対策の推進に関する特別措置法により、本市におきましても平成28年に石狩市空家等対策協議会が立ち上げられ、数度にわたる協議を始めパブリックコメントの実施など手順を踏んで対策計画が練られていることと思いますが、現時点での進捗状況についてお示し願います。

5. 石狩市のスポーツ振興と総合体育館の建設に関するこれまでの経過と今後の見通しについて

①高齢者に対するスポーツ振興策にどのように取り組まれるのかお伺いします。

②障がい者に対するスポーツ振興策にどのように取り組まれるのかお伺いします。

③スポーツ健康課が教育委員会所管から保健福祉部健康推進担当に移り一定の期間が経過しましたが、初期の目的は達成されているのかお伺いします。

④総合体育館のこれまでの調査・検討状況についてお伺いします。

⑤市長の総合体育館建設に関するお考えをお伺いします。

11番 和田 川 義 議員

1. 交通事故防止対策について

①非常事態宣言に至った経緯と対策について

②改めて「自分の身は自分で守る」考え方の徹底を

2. 日本海沿岸津波予想図について

- ①地区防災ガイドの見直しについて
 - イ. 人と車の動きのシミュレーションについて
 - ロ. 更なる浸水の可能性についての検討の必要性について
- ②「遠い所への避難」の見直しについて
 - イ. 避難ビル指定の実施について

3. 海の公園について

- ①海や港に親しめるためのウォーターフロント「海の公園」の実現について

4. 日本手話言語法について

- ①制定の必要性の認識と進捗状況について
- ②実現に向けた考え方について
- ③「手話言語のまち石狩」への取り組みの現状と更なる推進について

5. 公文書の取り扱いについて

- ①公文書の保存・管理の現状について
- ②市民が積極的に閲覧できる仕組みづくりを

6. 海浜植物保護センターについて

- ①今日に至るまでの成果について
- ②指定管理者制度への移行の効果と市の考え方との整合性について

7. 鮭の水族館の設置について

- ①「サケのまち石狩」としての取り組みについて
- ②鮭の回遊など、生態を見学できる施設の必要性について

2 番 阿 部 裕 美 子 議 員

1. 庁舎の有効活用について

- ①議場において、コンサート・講演会を行う事について

2. 障がい児の支援について

- ①知的障がい児に対する補装具の必要性について
 - イ. バギー等購入費の助成について
 - ロ. 中古品等を活用するシステム作りについて
- ②紙おむつ費助成対象者の拡大について

3. 教育機会確保法を受けて

- ①花川南地域に不登校児童生徒の受け入れ施設を

4. 通級指導教室の拡充について

- ①花川南地域に教室開設を

5. がん教育の更なる推進を

- ①外部講師を登用した授業により、更なるがん教育の推進を

6. 部活動指導員の導入について

- ①教員の負担軽減と生徒への指導強化を目指し、部活動指導員の導入を

7. 子どもの読書推進について

- ①セカンドブック・サードブックの取り組みについて